

2023年度JKA補助事業 公設[共同研究]について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2025年6月30日(月)

・提出先：m2023hyoka@keirin-autorace.or.jp

《JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

- * **青字部分**は記入例です。記入の際、参考になしてください。
- * **水色箇所**が記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目となります。
- * 以下の【記入にあたっての注意点】も一読のうえ、ご記入ください。

2023年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2023M -	170	補助事業者名	〇〇県	補助事業名	公設工業試験研究所等が主体的に取組む共同研究
------	---------	-----	--------	-----	-------	------------------------

◆整理番号、補助事業者名(法人名等)を記入してください。

2023年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

作成日	2025	年	6	月	18	日	作成者	競輪 太郎
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

◆この自己評価書の作成日、作成者を記入してください。

1. 補助事業で実施した事業(公設 共同研究)についてご記入ください。

研究分野	表面改質技術
共同研究先	〇〇大学、県内の金属加工メーカー

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5)4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2023年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27.28「自己評価スコアリングガイド」をご参照ください。

(2) 事業 内容	事業の 発展性	[達成値] [達成状況] [具体的内容]			採点
		10件	167%	目標としていた企業からの相談対応件数6件に対して、想定以上の問い合わせや相談があり、共同研究の成果が活かされる結果となった。	4
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及	[達成値] [達成状況] [具体的内容]			採点
		10件	167%	目標としていた企業からの相談対応件数6件に対して、想定以上の問い合わせや相談があり、共同研究の成果が活かされる結果となった。	5

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、スコアリングガイドを参照の上、採点してください。
(点数はプルダウンで選択できます)

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。
!! 注意 !! ・【達成値】現時点での「実績値」を記入してください。
・【達成状況】のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

3. 補助事業として実施した研究内容の段階を選択してください。

- ☐ 基盤(実用化以前の段階) ☐ 実用化(試作品の開発、装置の開発) ☐ 製品化(注文販売化、量産化)

◆あてはまるものをひとつ選択してください。

4. 補助事業から得られた研究成果が、社会で実用化・製品化されるのにどの程度の年数が必要と考えられますか。

- ☐ 補助事業年度内に既に実用化・製品化済み ☐ 1年以内 ☐ 1～3年程度 ☐ 3～5年程度
☐ 5年以上 ☐ わからない ☐ その他

◆あてはまるものをひとつ選択してください。

※既に実用化・製品化済みの場合、詳細をご記入ください ⇒

※「補助事業年度内に既に実用化・製品化済み」を選択した場合は、その詳細を記入してください。

※その他を選択した場合、詳細をご記入ください ⇒

※「その他」を選択した場合は、その詳細を記入してください。

5. 地場産業と当該事業に関連があれば、その具体的な内容をお教えてください。

地場産業 ⇒ 金属製品製造業、機械器具製造業、工具メーカー
(どのような産業か)

(どのような関連があるか具体的にご記入ください)

金属機械製造業900社以上において、機械部品や金型などの製品における耐久性向上等の新規用途開拓が見込まれ、これらの企業への波及効果が期待できる。

◆関連のある地場産業と具体的な内容を記入してください。

6. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がございましたらお教えてください。

〇〇新聞△△版にて、共同研究の成果についての紹介が掲載された。

◆当該事業に関して、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。
特になければ「特になし」と記入してください。

7. 今後、事業の継続や他に共同研究等を行う予定があればお聞かせください。

本事業については、社会的課題や技術的な面からも重要であると認識しており、共同研究体制を維持しながら研究及び開発について継続していく予定である。

◆今回の補助事業で行った研究やそれに関連する研究について、今後継続して研究を行う予定があれば、その内容について記入してください。

8. 公設工業試験研究所等及び事業分野を取巻く状況や課題をお聞かせください。
また、JKA以外で今回と同様な事業に対し、助成を行っている補助団体についてご存知であればお教えてください。

公設工業試験研究所における試験研究費用、設備修理更新費用の捻出が難しく提供サービスが制限されている。また、研究資材や試薬、物性評価装置などの研究経費や、国際会議や海外留学などの研究成果の公表や研究技術を習得する交流などにかかる経費も、物価の上昇や円安により急激に上昇しており、十分な研究環境を用意することが年々難しくなっている。

共同研究への助成を行っている団体として知っているのは、〇〇〇財団。

◆今回実施した事業の問題や課題等を記入してください。
また、国の施策等による影響などがありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、今回と同様な事業に対し助成を行っている補助団体をご存知であれば、その団体名を記入してください。

9. 上記1～8の補足や、JKAIに対するご要望等ございましたら、ご記入ください。

特になし。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。 m2023hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【公設（共同研究）】